

次世代型単接合太陽電池実証事業

事業の目的・概要

- ペロブスカイト太陽電池の実用化へ向けて一定条件下での発電コスト14円／kWh以下を達成するため、品質を安定させつつ大量生産可能な量産技術の確立に向け、一連の生産プロセスとして高いスループットや高い歩留まりを実現する技術開発を行う。
- 量産技術の確立と並行して、ペロブスカイト太陽電池の特徴を活かした設置方法や施工方法などを含めた性能検証のため、国内外の市場を想定した建築物などの実用箇所への施工、運用試験といったフィールド実証を行い、必要に応じて検証結果を踏まえた改良を行うことで、ペロブスカイト太陽電池の実用化を促進させる。

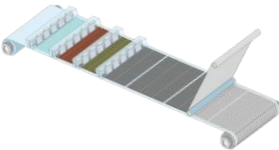
今回新規採択したテーマの規模等

- 事業期間：2026年度～2030年度（5年間）
- 事業規模：約156億円
- 支援規模*：約98億円
*インセンティブ額を含む。
採択予定額であり、契約などの手続により変更の可能性あり。
- 補助率：助成2/3、1/2

実施体制

事業イメージ

量産技術開発

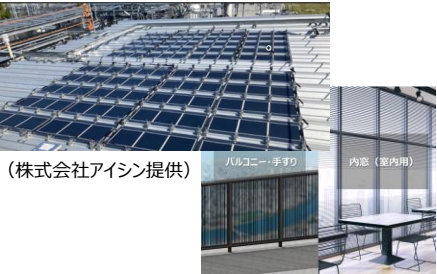


インクジェットによる量産イメージ
(株式会社リコー提供)



(積水化学工業株式会社提供)

フィールド実証



(株式会社アイシン提供)



(パナソニック ホールディングス株式会社提供)

テーマ名（●は今回の新規採択テーマ）	事業者名	※太字は幹事企業
○軽量フレキシブルペロブスカイト太陽電池の量産実証	・ 積水ソーラーフィルム株式会社 , 積水化学工業株式会社, 東京電力ホールディングス株式会社, 中央日本土地建物株式会社	
○インクジェット印刷ペロブスカイト太陽電池生産技術開発および社会実装に向けた設置施工技術・電装技術開発	・株式会社リコー	
○ガラス型ペロブスカイト太陽電池の量産技術開発とフィールド実証	・ パナソニック ホールディングス株式会社	
○設置自由度の高いペロブスカイト太陽電池の社会実装に向けた量産技術開発と実証	・株式会社エネコートテクノロジーズ	
●薄ガラス型軽量ペロブスカイト太陽電池の量産技術確立と社会実証	・株式会社アイシン	